令和７年度　第２回香美町総合教育会議　議事録

【日　　時】

令和７年１１月２７日（木）午後３時３０分～午後４時３０分

【場　　所】

香美町役場３階　庁議室（香美町香住区香住８７０番地の１）

【出 席 者】

町　　長	浜上　勇人
教 育 長	前田　毅
教育委員	多田　好江
教育委員	田路　一成
教育委員	上田　美登里
教育委員	石田　雅也

事 務 局	教 育 総 務 課 長	山田　貴広
	こ ど も 教 育 課 長	井上　修三
	生 涯 学 習 課 長	田中　利彦
	教 育 総 務 課 参 事	清水　幸信
	こども教育課参事	上田　智康
	教育総務課副課長	井上　直樹
	こども教育課副課長	今西　勝彦
	生涯学習課副課長	中村　達也
	教育総務課総務係総括係長	宮脇　秋子

【協議事項】

（１）学校再編について

①村岡区小学校の統合の方式について

②村岡区就学前施設の再編方式について

③村岡区小学校統合後の校舎の位置について

（２）その他

【議事要旨】

１　開会

（教育総務課長）

ただいまから、令和７年度第２回香美町総合教育会議を開催いたします。開会にあたりまして、浜上町長より挨拶をいただきます。

２　あいさつ

（町長）

皆さん、こんにちは。今日は、令和７年度第２回目の総合教育会議をお願いいたしましたところ、教育委員の方々には、お忙しい中ご出席をいただきました。誠にありがとうございます。

１１月６日に松葉ガニが解禁になりましてから、連日多くの観光客の皆様が町内にお越し下さるようになりました。また、来月半ばを過ぎますと、適度に雪が降って、町内３つのスキー場に、多くの観光客が来て下さいますことを期待するところでございます。

一方、教育委員会におきましては、今まで進めておりました香住区内の小学校２次再編が、令和８年度当初には、香住小学校へ残る３つの小学校が統合の運びとなります。今まで１次再編・２次再編含めて、教育委員会の職員をはじめ、また教育委員の皆さんにも、いろいろと議論を尽くしていただいた中、スムーズに学校統合が進んでいるところでございます。また、村岡区の再編につきましても、検討委員会の立ち上げから、今日の議題にしております３つのことについて、検討委員会で決定をいただいたということで、今日の会議の運びとなりました。今日は、皆さんから忌憚のないご意見を頂戴しながら、確認をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（教育総務課長）

ここからは、浜上町長に進行をお渡しし、協議事項に入りたいと思います。

３　協議事項

（１）学校再編について

（町長）

まず、（１）学校再編について議題とさせていただきます。教育委員会事務局から説明をいたします。

（教育総務課参事）

それでは、資料１ページの村岡区小学校等再編検討の経過をご覧下さい。村岡区の小学校及び就学前施設の再編に向けた検討をするために、保護者や地域の代表による村岡区小学校等再編検討委員会を設置いたしまして、今年の６月３日から３回の会議を開催してきました。これまでに、小学校の統合方式、就学前施設の再編方式、小学校統合後の校舎の位置について、検討委員会の確認を得ましたので、これらをこの総合教育会議で承認していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

検討委員会で確認された内容を説明しますので、資料２ページをご覧下さい。まず、小学校の統合方式についてですが、６月３日の第１回検討委員会で、小学校の統合方式は、２小学校を廃止して統合する小学校に編入する編入統合と、３小学校をいったん廃止して新たに統合小学校を設置する新設統合があることを、事務局から示させていただきまして、それぞれの委員が持ち帰って、ＰＴＡ会員や地域の方の意見を集約していただいたうえで、８月２５日の第２回委員会で協議をしていただきました。意見集約の結果につきましては、宝樹保育園が、保護者アンケートでわずかの差で編入統合という意見であったようですけれども、その他につきましては、３校とも同じような規模であるということから判断して新設統合が妥当という意見であり、再編検討委員会としましては、新設統合として進めることを確認しました。

次に資料の３ページをご覧いただきたいと思います。就学前施設の再編方式についてですけれども、同じく６月３日の第１回検討委員会で、宝樹保育園を保育所型認定こども園化し、村岡、うづか及び射添幼稚園を廃止する。なお、再編の時期は令和９年４月とする事務局の調整案を示させていただきまして、同じくそれぞれ意見集約をしていただいたうえで、８月２５日の第２回委員会

で協議していただきました。全ての団体の方が事務局案のとおりでよいということで確認をいただきましたけれども、こども園化にあたり、小学校入学前の１年が単なる保育の延長ではなく、しっかりとした教育を行ってほしいとの意見をいただいたところです。

続いて資料４ページをご覧ください。小学校統合後の校舎の位置についてですけれども、８月２５日の第２回委員会で、現校舎のいずれかを使用するという調整案を事務局から示させていただきまして、同様にそれぞれの委員が持ち帰って意見集約をしていただいたうえで、１０月２２日の第３回委員会で協議をしていただきました。射添地区の保護者からは、通学距離のバランスの面から、境と大笹の中間にあたる射添小学校の校舎を使用するのがよいという意見があったようですけれども、その他は保育園、中学校、高等学校、病院などが近くにあり、連携がとりやすい村岡小学校を使用するのがよいという意見で、最終的には多数決で現在の村岡小学校を使用するということが確認されました。射添地区の方から、下射添の子に負担が集中しないようにしてほしいと、距離の面で村岡小学校より香住小学校の方が近くなるような地区もあるので、通学区域の見直しや、現在の路線バスですと１時間近くかかるので、直通で行けるような検討をしてやってほしいといった意見をいただいたところです。以上が村岡区小学校等再編検討委員会のこれまでの検討結果でございます。

続いて、資料の６ページから１０ページに、この３回の検討委員会に提出した会議資料を添付しておりますので、参考にご覧いただきたいと思います。なお、今後は、校名、校歌、校章、通学方法、放課後児童クラブや廃校後の利活用などの検討を行っていく予定にしております。

（町長）

ただいま、事務局から村岡区学校再編の説明を受けました。これらについてご意見を頂戴したいと思いますが、全部で３項目ありました。一つずつ確認をさせていただきたいと思います。

①村岡区小学校の統合の方式について

（町長）

宝樹保育園が、保護者アンケートでわずかの差で編入統合という意見であったようでございますが、その他はすべて新設統合という意見であったことから、再編検討委員会としては、新設統合の方法で確認したとのことでございます。この件について、ご意見をいただきたいと思います。

（多田委員）

それぞれの小学校のＰＴＡの保護者さん、それから地域の区長会、宝樹保育園の保護者会の意見が少しあったようですけれども、ほとんど地域の皆さんは新設統合ですので、この方法で進めていただけたら結構かと思います。

（田路委員）

現在、兎塚小学校、村岡小学校、射添小学校とも、児童がずいぶん減っておりまして、一学年でも１０人を切って、５人とか、それ以下の学年もあるような状態になっております。３小学校ともに少人数の複式の状態も起こってきているようなことですので、３小学校のどこかに編入ではなくて、新設統合ということで進めていただければいいと思っております。

（上田委員）

香住区の場合は、香住小学校がすごく大きくて、他の小学校では複式があったりということで編入という形をとられて、それで良かったと思いますが、村岡区の場合は、複式になっていたり、学年に１人もいないようなところもあるようですし、全体の児童数を見ても同じくらいということなので、新しく一つの学校ができるという形の方がいいと思います。保護者の方や地域住民の方と説明や協議を重ねてこられて、皆さんのご意見を受けて、そういう形に収まるのがいいと私も思っております。

（石田委員）

各地域のご意見を聞かせて頂いたり、この資料につけていただいている令和１０年度の小学生の数などをみたりすると、新設統合で進めていただけたらと思います。

（教育長）

今言われたとおりだと思っています。ちょうど同じくらいの児童数ですので、新設するのが一番いいと思っております。

（町長）

ありがとうございました。統合の方式については、それぞれ委員さんのご意見の中でも、検討委員会の示された方式でよいという結論でございますので、その方向で決定させていただいてよろしいでしょうか。

（教育委員全員）

異議なし

（町長）

それでは、村岡区小学校の統合の方式につきましては、再編検討委員会で確認されたとおり、新設統合とさせていただきます。

②村岡区就学前施設の再編方式について

（町長）

村岡区就学前施設の再編方式ですが、意見集約の中で、もっと早く再編すべきであったとか、小学校入学前の１年間は保育の延長ではなく、しっかりとした教育を行い、小学校との連携によるスムーズな就学を望むといった意見があったようですが、再編検討委員会としましては、事務局が示した調整案のとおりで確認したということでございます。この件について、ご意見をいただきたいと思います。

（多田委員）

結論としては、原案とおりでいいと思っております。気になっているのは、宝樹保育園の施設が、改築や増築の必要がないのかというあたりが、少し認識不足でして、そこは少し気になっていますけれども、香住区の幼稚園もこども

園化ということになると思いますので、同じ町内で同じように統一していくということで、この形でいいのではないかと思っております。

（町長）

今、多田委員からあった、宝樹保育園の改築については、将来の認定こども園への移行を踏まえた建設をしているから、確か準備室で置いてある部屋を５歳児用に活用したら、大きく改造しなくても、現行の施設のままでできるような説明があって、その点で言うと、多田委員が懸念されているようなことについてはどうでしょうか。

（こども教育課長）

今の園舎を建設するときに、ゆくゆくはという様なことで、認定こども園化も見据えて建設し、今後５歳児が増えるとなったときに、今現在は多目的室ということになっていますが、そこを教室にするということを当初から予定をされています。今後、認定こども園化となるとすれば、建物自体は増築の必要がないということで話を進めているところでございます。

（田路委員）

今現在、宝樹保育園がありますので、３幼稚園がそこに集まって来るというのは、そうですよねって思いますけれども、宝樹保育園は私立ですね。小代の場合は公立、柴山も公立で、みなとや青葉は私立、さらに宝樹は私立といったときに、同じように認定こども園化と言っても、様々なところに違いが出てきますけれども、その違いの部分で共通して香美町の就学前としてこれだけはっていう部分と、私立であるが故の特色が出てくる部分での、どこら辺までが共通の就学前で、どこら辺が違いの部分かというのが、自分でちょっと想像できない部分があるとは思いました。方向としては、これでいいと思います。

（上田委員）

村岡区は、保育園としては宝樹しかないので、宝樹でそれなりの人数が集まって保育を受けてきたのに、たった１年の幼稚園のために、１人や２人になっ

て３か所に分かれるというのは、何とかならないだろうかという親御さんの気持ちもありましたし、卒園式や入園式に寄せていただきますけれども、卒園式は１年過ごしてきた子どもたちの、最後の発表の場でもあるので、いろいろと見せていただきましたけど、入園式に関しては、歌を歌っても２人だけだったりすると、来賓の方が大きな声で歌ったりするくらい、在園児もいないので、ちょっと寂しいなと思っていました。一つにまとまるというのはすごくいいことだと思いますし、先生方が本当に努力されてスタンダードカリキュラムを作られて、幼児教育に向けても一本化して、保育に向けても頑張って準備されてきて、それに向かっておられるので、私は心配ないと思っています。小代のこども園を見ていても、おんぶして離乳食をあげてというような育児的な保育もありますけど、発表会とか見に行ったりしますと、小学校に向けて何の心配もないなって思うくらい、きちんと準備ができているので、こども園だからというような心配はないと思います。だから、このように一つにまとまってこども園にされたらいいと思います。

（石田委員）

中学校も近いですし、小学校はこの後出てきますけれども、園の設備も新しいですし、問題ないと思います。

（教育長）

元々、教育・保育要領があるわけですから、最低限のことは５歳だろうと４歳だろうとしなければいけないわけで、それに香美町独自のスタンダードカリキュラムを加えます。また、町長にお願いしないといけませんけど、専門の指導主事を就学前に１人配置することまで考えて計画しておりますので、頑張っていけると思っております。

（町長）

それでは、いろいろとご意見を頂戴しております。２つ目の関係、村岡区就学前施設の再編計画につきましては、再編検討委員会で確認されたとおりとさせていただいてよろしいでしょうか。

（教育委員全員）
異議なし

（町長）
ありがとうございました。それでは、村岡区の就学前施設の再編方式につきましては、宝樹保育園を保育所型認定こども園化し、村岡・うづか及び射添幼稚園を廃止する。なお、再編の時期は、令和９年４月とさせていただくこととさせていただきたいと思います。

③村岡区小学校統合後の校舎の位置について

（町長）
村岡区の小学校統合後の校舎の位置でございますが、射添小学校のＰＴＡと射添幼稚園の保護者は、通学距離のバランスの点から、境と大笹の中間にある射添小学校の校舎を使用するのがよいといった意見であったようでございますが、その他は、保育園・中学校・高等学校・病院などが近くにあり、連携がとりやすい村岡小学校を使用するのがよいとの意見で、最終的に多数決で、現在の村岡小学校を使用することを確認したとのことでございます。この点について、教育委員のご意見を頂戴したいと思いますので、よろしくお願いします。

（多田委員）
３つの学校の校舎の状況を参考にさせていただいたときに、村岡小学校はエレベーターもついていますし、やはり、体が不自由な方や体調が悪い子どもにはエレベーターはなくてはなりませんので、そこを兎塚や射添を使う場合には、新しく設置しなければいけないということは負担も大きいですし、そういう観点からも、それから地域の方からの意見の中で、改修の時期が村岡小はずいぶん早かったため大丈夫なのかというご意見もあったようですけれども、それも村岡小は特別な改修の仕方をしているので、十分耐えられる施設であるというような説明もあったようですし、そういうことを考えても村岡小学校で再編されていくのがいいのではないかと思っています。ただ、地域の方が一番心配な

さっているのは、通学の方法ですね。今の段階での仮の通学方法は、路線バスがたくさん使われていますけど、地域の規模を考えれば、スクールバスというような方法にしていただくことも考慮していかないといけないのではないかと思いますが、校舎を考えても、地域の方の要望から考えても、村岡小学校でいいと思っています。

（田路委員）

皆さんがおっしゃられているとおりに、教育環境として、宝樹があり、そして村岡小学校、それに村岡中学校、さらには高等学校や病院まで、ほとんど同一のところに集まっている。他にはこんなに整っているところはないっていうのは、大きいと思っております。もう一つは、この間も教育委員会の学校訪問で行かせてもらって、丁寧に説明を受けながら施設を見せてもらいましたけど、すごくいい環境で、ランチルームもエレベーターもそうですけど、教室環境や体育館も、もう本当にもったいないなというぐらいのいいところです。やはりあそこにみんなが集まってくることについては、教育環境のことを考えたときに申し分ないし、ぜひこれでできればいいなと思っております。

（上田委員）

この３校とも寄せていただいたことがありますけど、どの学校も本当にきれいに使用されていて立派な校舎だったんですけれども、私も先日の訪問で村岡小学校に寄せていただいて、玄関にはその建築関係の、その校舎の関係の表彰の盾が置いてあって、本当に見事な建物で、近代的っていうんじゃなくて、自然と調和したような木造を中心としたものでしたし、どこからも光が入るような教室で、とても本当に立派な学校で感心しました。エレベーターもありましたし、トイレも多目的というか、車いすもそのまま入れるようなトイレもありましたし、素晴らしい校舎だと思います。環境的にも、中学校も保育園も近くにあって、高校もあって、いろんな意味で連携や、教育の交流ができるいい場所にあると思っておりますので、そこを使っていただきたいと思っております。

（石田委員）

私は、仕事で全部の小学校に行かせてもらいますけど、皆さんがおっしゃるとおり村岡小学校が一番新しいですし、環境的にも一番いいと思いますので、使っていただくのがいいと思います。

（教育長）
遠くなる地区があることと、村岡を選ぶということとは別の話だろうというふうに整理しておかないといけないだろうなと、遠くなる地区があるから村岡が使えないっていうことではないだろう。さっき言われたように、スクールバスであるとか、香住との教育も含めて考えていかないといけないだろうというふうには思っています。

（町長）
村岡小学校でという結論でございます。再編検討委員会で確認されたとおりとさせていただいてよろしいでしょうか。

（教育委員全員）
異議なし

（町長）
先ほど教育長からもありましたように、距離的なこととか交通手段の関係は、これから教育委員会を中心に、保護者の皆さんや地域の皆さんにご理解いただく手法を、何らかの形をとっていかなければなりませんが、委員さんからもありましたスクールバスの運用につきましては、町全体を考えますと、町民バスや路線バスに、乗客がない中で億単位のお金を使っている一方で、別途それ以上に単独のスクールバスばかり走らせること、それから今の働き手不足の中で、もう如実に運転員に困っておりまして、そういうことも含めながら確かな運用を図っていって、安全にまた効率的に子どもたちを学校まで送っていくという仕組み作りにも、非常になかなか難しい問題が多々あります。教育委員会も含めて、町長部局も含めて、町全体の公共交通を考えていかなければならない大きな問題ですので、そこら辺を考えて取り組んでいきたいと思っております。

それでは、先ほどの３つ目の村岡区小学校再編後の校舎の位置は、村岡小学校の校舎を使用することと決定をさせていただきます。

（２）その他

（町長）

教育委行政全般に関しまして、委員の皆さんから何かご意見等がございましたら、どうでしょうか。

（多田委員）

学校訪問に行きましても、すごく子どもたちが落ち着いて勉強しているということを、ここ１、２年感じます。特に、今年度は中学校に行かせていただく機会が多かったんですけど、対話的な学びを生かしながら、もちろんＩＣＴも活用しながら、子どもたちが素直に、それから学び合いながら、刺激し合いながらという感じを、行かせていただく度に感じて、これは先生方がきちんと考えて、学習に向かう姿勢を作られているからだということを感じています。感謝です。

（田路委員）

学校訪問をして授業を見せていただくと、タブレットやデジタル教科書といったことをずっと力を入れてきて、もう相当定着しているなと、子どもたちも慣れた感じで、グループ化してやっています。やはり力を入れてきたかいが、ああいうふうにして出ているのかなというふうに思って見させていただいていますけど、それによるプラスの部分と、それからプラスになっていないこともあるかも知れないと考えながら、やはり進めていくことは大事かなと思っています。それと、先ほどの教育委員会でもありましたけど、子どもたちがインフルエンザにたくさん罹って、学校が休みになったりしているようなことも聞かせていただいたり、先生方も様々なところに無理がいって疲れを出していないかなって思ったりするところもありますので、子どもたちも先生方も元気で、学校教育を進めていただければいいなと感じております。

（上田委員）

子どもたちのいろんな目標、読書とかいろんな習慣がありますけど、あいさつをしましょうということがいつもうたってあって、都会の方では、学校を出たら名札も外してしまうとか、街中で声をかけられても振り向かない、返事もしないというような、ましてやあいさつなんてしないような世の中になっていますけど、小代の方では、学校の行き帰り、町の中でも村の中でも、子どもたちのあいさつの声が聞こえます。それを受けて大人たちも「いってらっしゃい」「おかえり」っていう声掛けをしあって、子ども１人でバスを降りてから歩くということもありますけど、またそれを見守り隊の人たちが本当にやさしく通学に寄り添ったりして、子どもたちが少なくても安全に通学できるようにって、町の人たちも努力しているのをみると、こういうことがずっとこれからも続いていけばいいなっていうふうに思っていますし、元気なあいさつがあちこちで聞こえるというのは、本当にいいなって毎日見ております。

（石田委員）

香住区の二次再編。ＰＴＡの役員をさせていただいているんですけど、ちょうど昨日、来年度の春から統合する柴山、長井、余部のＰＴＡの方と会議をさせてもらって、令和８年度のＰＴＡをどういうふうにしていこうかという話をさせていただいていたところなんですけど、やはり余部とか長井とか、これから来られる保護者の方がすごく不安を感じておられて、実際には、小学校の先生もすごい気をつけて、去年の奥佐津・佐津の統合からも見ていただいていると思うんですし、来年度も統合してくる子どもたちのことは、すごい気をつけてみてくださると思うんですけど、やはり親御さんは心配だっていうのを言っておられています。香住小に前からいる保護者ができることは、もちろんさせてもらいたいとは思うんですし、学校にも引き続き来年度から来る子たちに、少し目をかけていただけたらということを思うのと、今話がでています村岡区は、新設統合ということで、また香住区とは方式が異なるので、違うかも分からないですけども、今後検討を重ねていかれる中で、子どもについて気をつけていただくようなことも考えていただけたらと思いました。

（町長）

ありがとうございます。令和８年度の香住区の関係、それから最終的には令和１０年度の村岡区の小学校統合、その１年前の認定こども園化、具体的に、前田教育長はじめ、教育委員さん、事務局の皆さんには大変ご負担がかかるとは思いますけれど、どうしてもくぐり抜けていかなければならないという部分だというふうに思っております。いろいろと共有しながら進めていきたいと思いますので、引き続き教育委員さんにはご苦労をおかけしますけど、よろしくお願いしたいと思います。

それでは、協議事項については承認いただきましたので、事務局にお返ししますので、よろしくお願いしたいと思います。

４　閉会

（教育総務課長）

慎重なご協議、ありがとうございました。皆様から頂きましたたくさんのご意見、ご決定いただきました方向性に従って、今後の教育行政をすすめさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、本日の総合教育会議を閉会といたします。